

ビジネス  
パスマインナー

## データベースにおまかせ！

中日新聞は東海3県を中心に約192万部を販売し、読売新聞・朝日新聞に次ぐ国内第3位（※ ABCレポート2022上半期）を誇る、日本最大の日刊ブロック紙です。

「中日新聞・東京新聞記事データベース」では、「中日新聞」「東京新聞」の各最終版、および中日新聞社が発行する愛知、岐阜、三重県ほかの地域版の主要記事を検索・閲覧できます。

### 【第4回】

中日新聞・東京新聞  
記事データベース

### ★中日新聞・東京新聞記事データベースで調べられること

#### 記事検索

「中日新聞」「東京新聞」記事をキーワード、日付、面、刊別（朝刊、夕刊）、地方面を指定して検索できます。（収録内容：下表参照）  
「中日新聞」または「東京新聞」を個別に検索できるほか、両紙を横断検索することもできます。



■ 中日新聞	収録開始期と収録内容
1987年 4月～	最終版（市民版：愛知県名古屋市内）
1989年 4月～	愛知県版・岐阜県版・三重県版・滋賀県版・福井県版・長野県版
1995年 1月～	三重県の全地方版（北勢版、中勢版、松阪・紀勢版、伊勢志摩版、伊賀版、牟婁版など（紀州版は除く））
1995年 4月～	岐阜県の全地方版（岐阜近郊版、中濃版、西濃版、東濃版、可児・東濃版、飛騨版など）
1996年 1月～	愛知県の全地方版（市民版、なごや東版、近郊版、知多版、尾張版、豊田版、西三河版、東三河版など）
2013年 11月～	滋賀県の全地方版（びわこ版など）
2019年 1月～	静岡県の全地方版（静岡県内版、浜松市民版、湖西版、静岡版、中東遠版、浜松・遠州版など）
2020年 4月～	長野県の全地方版（中信版など）、福井県の全地方版（嶺南版、嶺北版など）
■ 東京新聞	収録開始期と収録内容
1997年 4月～	最終版（東京都内）
2009年 4月～	東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、群馬、栃木、静岡東部の全地方版

#### 地方面検索

地方面とは、特定の地域のニュースを掲載した紙面です。例として、「愛知」の地方面にチェックを入れて検索をすると、「市民版」「尾張版」「西三河版」「豊田版」など愛知の全地方版記事から検索します。

### ★中日新聞・東京新聞記事データベースを利用するには

データベース席を予約する(53号参照)→図書館ホームページから、または来館して直接予約してください

■ 編集後記 ■ 外出自粛もなくなりつつあり、大きな期待がかかる飲食業界。不安定な世界情勢や円安による燃料や原材料価格の高騰、人材不足など不安材料もありますが、インバウンド需要での顧客増加など明るいニュースもあります。今までのあり方にこだわらず、新しいビジネスモデルを模索してぜひ活気を取り戻してほしいものです。（AM）

次回 57号は  
令和5年1月4日発行予定です

# Business Topics Vol. 56



## いま知りたい！ あの会社の経営戦略

～「食」を支える企業編～

今回は、私たちの生活に欠かせない「食」に関わる企業のマーケティングや人材育成など、経営にまつわる図書をご紹介します。コロナ禍を乗り越え売り上げを伸ばしているあの会社、働く社員が元気で生き生きしているあの会社など、成長を続ける会社、経営者はどのような信念や戦略を持っているのでしょうか。読んでみると、今のあなたに響く部分があるかもしれません。

### ■ 新刊 PICK UP !



『できるリーダーは、「これ」しかやらない メンバーが自ら動き出す「30の質問」聞き方・話し方編』

伊庭正康/著 PHP研究所  
2022.9 (336.3/1)

リーダーとして、部下とのコミュニケーションに悩んでいる人は多いのではないのでしょうか。本書は、2019年に発行された『できるリーダーは、「これ」しかやらない』の続編です。前編をベースにして「聞き方・話し方」について深掘りして1冊にまとめています。「パーククエスト」という30の質問を使い、部下の話を「ひたすら聞く」ことで自主性を引き出す方法などが詳しく載っています。会話例が沢山載っているので、初めて部下を持った人にもおすすめの1冊です。

### ■ Contents ■

【表紙】新刊PICK UP！

【特集】いま知りたい！あの会社の経営戦略 ～「食」を支える企業編～

- ・売上を、減らそう。
- ・30円のブラックサンダーで100億円企業になった理由
- ・シェフたちのコロナ禍
- ・渋谷の八百屋発食農ビジネス革命
- ・シャトレーゼは、なぜ「おいしくて安い」のか
- ・ドムドムの逆襲
- ・日本マクドナルド「挑戦と変革」の経営
- ・丸亀製麺のすごい働き方（書名五十音順）

【巻末Topic】データベースにおまかせ！  
第4回～中日新聞DBの使い方～

予約ができる  
ビジネス書新着リスト  
はこちらから→



2022年11月1日発行  
(隔月発行)

編集・発行  
小牧市中央図書館  
0568-73-9951

## ◆特集◆ 今知りたい！あの会社の経営戦略 ～「食」を支える企業編～

### 『日本マクドナルド「挑戦と変革」の経営』

日本マクドナルド株式会社／著 東洋経済新聞社 2022.9 (673.97/ニ)



日本に上陸して50年。本書は、日本マクドナルド初の公式ビジネス書です。停滞の時代や反発のあったキャンペーン等についても公正に書かれており、問題が起きてその都度原点に立ち返り復活をしてきた姿は、他の業種でも参考にできるのではないのでしょうか。

根底にある理念「ピープルビジネス」を第一にしながら挑戦と変革を続ける日本マクドナルドの今後が楽しみです。

### 『シェフたちのコロナ禍 道なき道をゆく三十四人の記録』

井川直子／著 文藝春秋 2021.5 (673.97/イ)

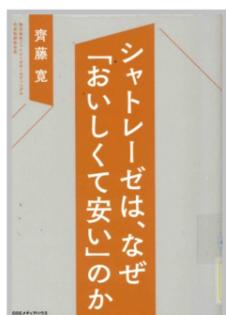


2020年の春に起きた新型コロナウイルスの感染は飲食業界を大きく揺さぶりました。夜間、週末の外出自粛が要請され、緊急事態宣言は全国に拡大されました。「何が正解なのかわからない」混沌としたコロナ禍の時代のなかで模索が始まりました。

この本は34名のシェフや店主への取材をまとめた貴重な記録です。

### 『シャトレーゼは、なぜ「おいしくて安い」のか』

齊藤寛／著 CCCメディアハウス 2021.9 (588.3/サ)



テレビコマーシャルや新聞広告などの宣伝はしなくとも、今や日本にとどまらず海外でもファンの多いシャトレーゼ。山梨県のたった4坪の焼き菓子店からスタートし、たくさんの人に親しまれるようになった現在までの軌跡を辿る1冊となっています。

創業者である筆者の理念と、それを形にしていく社員の工夫と努力は“おいしさ”と“安さ”のほかにも私達に提供してくれているようです。

### 『売上を、減らそう。』 中村朱美／著 ライツ社 2019.6 (673.97/ナ)



労働環境が良くないと言われる飲食業界の中で、「残業ゼロ」「なのに従業員の給料は百貨店並み」を実現している但食屋。「売り上げを減らす」という、巷の業績至上主義とは真逆の方法で、従業員もお客様も幸せにする経営なんてできるの？と聞いていましたが、この本を読んで考えが変わりました。特に2章の、1日100食しか売らないと決めたからこそ生まれるメリットについての項は目から鱗が落ちました。固定観念にとらわれず挑戦を続けていく著者の姿勢に、元気をもらえる一冊です。

### 『丸亀製麺のすごい働き方』 小野正誉／著 秀和システム 2021.10 (673.97/オ)



カウンターでうどんを注文し、サイドメニューを直接選び、食後の器は自分で返却口へ戻すという「セルフうどん」形式を全国的に広めた丸亀製麺は、飲食業を中心とする(株)トリドールホールディングス傘下のブランドの一つです。

セルフ式の気軽さと、全国850以上の一店舗一店舗で粉から製麺するという専門店の拘りを両立させつつ、コロナ禍で大きな打撃を受けた外食産業のなかで一人の解雇者も出さなかった丸亀製麺の働き方のすごさに迫ります。

### 『30円のブラックサンダーで100億円企業になった理由』

エムシー・ブー／著 トランスワールドジャパン 2015.9 (588.34/イ)



コンビニやスーパーでお馴染みのお菓子「ブラックサンダー」。製造する有楽製菓に売れた理由を聞いたら「たまたまです」と言われた著者が、なぜ広告宣伝費ゼロでも売上を伸ばして100億円企業になれたのかの理由を探っていく、というユニークな構成になっています。パッケージデザインやマーケティング、対談など色々な角度からアプローチしており、会社がどのように逆境を乗り越えてきたかがわかる内容となっています。

### 『渋谷の八百屋発食農ビジネス革命』 三浦大輝／著 扶桑社 2022.3 (673.58/ミ)



“農業を選んだ人が、全員豊かな生活を送る。そんな持続可能な世界を実現する”と5年後の実現を目指して日々現場に足を運ぶ筆者。

高校進学を目前にした地元仙台で被災した経験があったからこそ、社名にもなっているLiving Roots（生きる根っこという意味）を大切にしたいと、食と農を豊かにすることを探求しています。ビジネス書ではありませんが、日本の農業の未来を明るく照らしてくれる本です。

### 『ドムドムの逆襲』 藤崎忍／著 ダイヤモンド社 2021.7 (673.97/フ)



「ドムドムバーガー」と聞くと、桑名駅のビルにあった店を思い出します。(2020年6月閉店)

この本の著者は、現在社長をつとめる藤崎忍さんです。藤崎さんは39歳でアパレル店長となり、居酒屋経営をへてドムドムに入社、「手作り厚焼きたまごバーガー」をヒットさせました。

低迷していたドムドムはどのように逆襲したのでしょうか。